

# 浦安市立中央図書館大規模改修事業記録集

令和3年3月31日

浦安市立図書館

URAYASU PUBLIC LIBRARY

# 浦安市立中央図書館大規模改修事業記録集

## 浦安市立中央図書館大規模改修事業記録集 目次

第1章	はじめに	1
1	中央図書館大規模改修事業を振り返って	
2	年表	
3	関連経費	
第2章	計画	6
1	大規模改修事業基本計画の策定	
2	実施計画における位置付け	
3	大規模改修事業のコンセプト	
4	市民調査	
5	図書館協議会等の意見	
	(1) 図書館協議会	
	(2) 浦安市教育委員会点検・評価報告書における有識者意見	
6	市議会での質疑	
7	他館視察先	
第3章	設計	15
1	中央図書館周辺整備の設計	
2	建物本体の基本設計	
3	平成30年度予算における工事費の計上	
4	入札監視委員会	
5	実施設計	
	(1) 改修内容	
	(2) 電動集密書架の導入と蔵書の収容能力について	
	(3) 閲覧スペースの拡充について	
	(4) 中央カウンター周辺について	
	(5) トイレの拡充について	
	(6) 太陽光発電等の導入について	
第4章	実施	21
1	工事関係	
2	移転関係	
	(1) 什器	
	(2) 図書館資料	
	(3) 新規備品	

- 3 休館中サービス
  - (1) 臨時窓口サービス
  - (2) 分館サービス
  - (3) 休館中利用分析
- 4 広報
  - (1) 図書館通信
  - (2) 広報うらやす
  - (3) その他

第5章 成果 . . . . . 31

- 1 主な成果
- 2 課題
- 3 新規サービス
  - (1) のびのび広場
  - (2) あかちゃんほっとすてーしょん
  - (3) 読書通帳機
  - (4) ワークスペース
  - (5) 南側閲覧席
  - (6) 学習室・サイレントルーム
  - (7) 視聴覚コーナー
  - (8) 視聴覚室
- 4 リニューアルオープン事業
  - (1) イベント計画
  - (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

第6章 参考資料

- 参考資料1) 浦安市議会教育民生常任委員会 中央図書館大規模改修関連質疑一覧  
浦安市議会 中央図書館大規模改修事業関連本会議質疑・質問
- 参考資料2) 公募型プロポーザル募集要項、内容書
- 参考資料3) 資料形態別移管計画表
- 参考資料4) 休館中雑誌所蔵一覧  
平成30年度浦安市立図書館新聞購読一覧(2019年1月～)
- 参考資料5) 浦安市立中央図書館ゾーニング図面  
本館1階 開架、児童室、レファレンス室、本館地下  
書庫棟1階、2階、書庫棟地下
- 参考資料6) 集合事務所配置図

参考資料 7) カウンター基本事項 1 月改定 (平成 31 年)

参考資料 8) 臨時窓口シフト表 (令和元年 8 月～)

参考資料 9) 中央図書館臨時窓口の業務内容について

参考資料 10) 浦安市立図書館図書館通信 : 所蔵資料(書誌番号 B13057185) 参照

参考資料 11) 広報うらやす号外図書館特集号 (令和 2 年 3 月 21 日発行)

参考資料 12) Uモニ集計結果 (令和 2 年 12 月実施)

## 第 7 章 資料集

- 1 浦安市立中央図書館大規模改修事業基本計画
- 2 改修後平面図
- 3 要綱集
  - ・浦安市立中央図書館防犯カメラ設置運用基準
  - ・浦安市立図書館ワークスペースに関する要綱
  - ・浦安市立中央図書館学習室等の利用に関する要綱
  - ・浦安市立図書館読書通帳の取扱いに関する要綱
- 4 各種ポスター
- 5 リニューアルオープンパンフレット
- 6 写真集

はじめに

## 1 中央図書館大規模改修事業を振り返って

平成 22 年度、浦安市第2期基本計画第2次実施計画事業として中央図書館大規模改修事業が位置付けられ、館内での検討が始まってから、移転作業、改修工事、開館準備を経てリニューアルオープンを迎えるまで、9年以上の歳月を要しました。この間に東日本大震災、新型コロナウイルスの感染拡大という2つの大きな災害を経験しました。新型コロナウイルスの感染拡大はまだまだ渦中にありますが、東日本大震災からの復興を成功体験として、乗り越えられるものと信じて業務にあたっています。

当初の予定では、平成 23 年度～24 年度で検討、平成 25 年度で劣化度調査、平成 26 年度で基本設計との予定でしたが、平成 23 年3月に起こった東日本大震災による方針の変更があり繰り延べになりました。平成 25 年度～27 年度の事業計画である第2期基本計画【改定】第2次実施計画事業として改めて位置付けられ、事業としての検討が開始されました。

一方で中央図書館は、平成 25 年3月に開館 30 年を迎え、インターネット環境の整備などのソフト面、雨漏り、トイレの老朽化などのハード面共に改修の必要性が高くなっていました。また、新市庁舎の建設や浦安公園の整備など周辺の施設にも変化があり、図書館独自の駐車場の整備も必要となりました。こうしたことを踏まえ、館内で検討委員会を立ち上げ、既存の施設の修繕から運用の変更を伴う改修まで、館内の意見の集約を図り、まとめてゆきました。

平成 28 年度には改修にあたってのコンセプトを策定しました。また、浦安市インターネット市政モニター制度や来館者へのアンケートを実施し、市民からの意見を聴取しました。

平成 29 年度より施設の基本・実施設計業務を進める一方で、中央図書館休館中のサービスの検討を開始しました。中央図書館資料の分館での利用や代替施設でのサービス内容を取決め、可能な限りサービスの質が低下しないようにしました。同時にリニューアルオープン後のサービス内容や資料の棚構成の検討も進めました。

中央図書館の最終開館日平成 30 年 12 月 27 日には、たくさんの市民の方に来館していただき、1 年余りにわたる休館に入りました。年が明けて1月4日から始まった移転作業に際しては、17,000 ケース以上の什器、備品、図書資料などが運び出されました。資料がすべてなくなった図書館は当たり前ですがとても広く感じられました。

1 年余りの休館中も、多くの市民の方に代替施設や分館でのサービスを利用していただきました。工事が竣工した令和2年1月 31 日以降、什器や図書館資料の搬入整理を行い、3月のリニューアルオープンに向けて準備をしました。新型コロナウイルスの流行を受け、記念事業はすべて中止となりましたが、3月 24 日、サービスを限定した形で中央図書館のリニューアルオープンを迎え、開館を待ちわびた市民の皆様に多数ご利用いただくことができました。市長からは「図書館の街・浦安であり続ける」とのメッセージを市民に発信していただきました。長きにわたった休館でしたが、皆様に喜んでいただける施設に生まれ変わることができたと感じております。

2 年表

年月	項目
<b>平成 23 年 (2011 年)</b>	
1 月	第2期基本計画第2次実施計画第1次内示において「中央図書館大規模改修事業」が計画事業とされる
3 月	東日本大震災の被害により復旧・復興が優先となり、事業の実施が見送られる
<b>平成 25 年 (2013 年)</b>	
1 月	第2期基本計画【改訂】第2次実施計画本内示において「中央図書館大規模改修事業」が計画事業とされる
4 月	大規模改修事業プロジェクトチーム発足
7 月	視察(千代田区立日比谷図書文化館)
10 月	視察(葛飾区立中央図書館)
<b>平成 26 年 (2014 年)</b>	
1 月	第2次実施計画(改訂版)本内示において「中央図書館大規模改修事業」が計画事業とされる
2 月	視察(府中市立中央図書館)
3 月	視察(飯能市立図書館)
7 月	視察(北区中央図書館)
<b>平成 27 年 (2015 年)</b>	
3 月	第2期基本計画(平成 26 年度時点修正版)及び第3次実施計画において「中央図書館大規模改修事業」が計画事業とされる
	「浦安市立中央図書館大規模改修事業基本計画」生涯学習部承認
	視察(茨城県立図書館)
7 月	中央図書館敷地内の駐車場整備について検討を開始
11 月	視察(港区立麻布図書館)
<b>平成 28 年 (2016 年)</b>	
1 月	視察(文京区立真砂中央図書館)
2 月	視察(江東区豊洲図書館)
6 月	視察(海老名市立中央図書館)
	中央図書館周辺整備設計業務委託開札・契約締結
7 月	中央図書館周辺整備に伴う敷地測量業務委託契約締結
	来館者駐車場・駐輪場利用状況調査
8 月	敷地内測量業務実施
11 月	大規模改修事業における改修コンセプトの決定
	視察(千葉大学アカデミックリンクセンター)

年月	項目
12月	視察(武蔵野プレイス)
<b>平成 29 年(2017 年)</b>	
7月	中央図書館大規模改修に伴う市民利用に関するアンケート実施(来館者・Uモニ)
8月	中央図書館大規模改修設計業務開札・契約締結
9月	設計業務に伴う館内事前調査開始
	中央図書館大規模改修に伴う市民利用に関するアンケート実施(図書館以外の公共施設利用者)
10月	館内アスベスト状況調査実施
12月	第1回設計審査会開催
	入札監視委員会(中央図書館大規模改修設計業務)開催
<b>平成 30 年(2018 年)</b>	
1月	諸元表の作成に着手
2月	視察(大和市立図書館)
4月	大規模改修工事予算営繕課ヒアリング
5月	「浦安市立中央図書館大規模改修工事に伴う物品(図書館用資料を含む)の調査及び搬出入並びに保管等業務委託」(以後、「搬出保管業務」)公募型プロポーザル募集要項公表
	第2回設計審査会開催
6月	広報うらやす6月1日号「中央図書館大規模改修に伴う休館」
7月	搬出保管業務公募型プロポーザル選定結果公表
8月	総合駐車場、浦安公園整備工事のため閉鎖
10月	広報うらやす 10月1日号「大規模改修に伴う休館」
9月	広報うらやす9月1日号「図書館での寄贈の受付を中止します」
11月	広報うらやす 11月1日号「市長さんぽ 日本一の図書館リニューアルへ」
	行政情報番組「こちら浦安情報局」の「市長さんぽ」で紹介
	建築、電気設備、機械設備、各工事開札及び仮契約 機械設備工事は、応札業者はあったが不調となり、後日再入札
12月	広報うらやす 12月1日号「中央図書館大規模改修に伴う休館」
	大規模改修工事(建築、電気設備、機械設備)契約締結
	大規模改修工事監理業務委託契約締結
	大規模改修工事に伴う中央図書館休館
	保管備品及び図書等搬出業務開始

年月	項目
<b>平成 31 年/令和元年 (2019 年)</b>	
1月	広報うらやす1月1日号「大規模改修に伴う中央図書館の休館」
	浦安市集合事務所1階に臨時窓口設置/返却資料の受付と予約資料の貸出しのみ再開
	産業廃棄物運搬処分業務実施
2月	図書館通信第1号発行 以降、毎月1日付で発行
	保管備品及び図書搬出業務完了、大規模改修工事本格着工
	行政情報番組「こちら浦安情報局」の「市だより」で「図書館分館を利用しよう」放映
	広報うらやす2月15日号「図書館分館を利用しましょう」
3月	視察(電動書庫について)(港区立麻布図書館)
	おさんぽバス内に「中央図書館休館中」のポスター掲示(5月末頃まで)
5月	周辺整備工事(外構・駐車場整備)開札、仮契約
6月	周辺整備工事契約締結
2月	周辺整備工事着工
9月	大規模改修建築工事変更契約(追加工事・金額変更)
10月	休憩・飲食室内販売コーナー事業者募集要項公表
11月	休憩・飲食室内販売コーナー事業者募集締切(応募なし)
<b>令和 2 年(2020 年)</b>	
1月	周辺整備工事、工事監理業務委託変更契約(履行期間変更)
	大規模改修工事竣工
	新規備品購入契約開札、契約締結
	読書通帳機新規導入
2月	保管備品及び図書等搬入、配架作業開始
	広報うらやす2月1日号「中央図書館リニューアルオープン！」
	休憩・飲食室内自動販売機設置開札
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内覧会、記念事業中止決定
3月	保管備品及び図書等搬入作業完了
	周辺整備工事竣工
	広報うらやす号外「中央図書館リニューアルオープン」図書館特集号
	リニューアルオープン(3月24日)
	開館時間を午前10時から午後6時までに短縮、一部立入・使用禁止、座席数の削減等、制限付きで開館



### 3 関連経費

#### 大規模改修事業経費一覧

1	中央図書館周辺整備設計業務	4,881,600 円
2	中央図書館大規模改修工事設計業務	31,765,000 円
3	中央図書館大規模改修工事監理業務	30,132,000 円
4	中央図書館大規模改修建築工事	1,041,937,800 円
5	中央図書館大規模改修電気設備工事	243,756,000 円
6	中央図書館大規模改修機械設備工事	506,336,400 円
7	中央図書館周辺整備工事	229,900,000 円
8	引っ越し・保管業務	152,446,163 円
9	産業廃棄物収集運搬処理業務	4,256,175 円
10	端末機器等移設業務	2,188,480 円
11	既存機器撤去・移設業務	1,437,668 円
12	施設開設用備品等購入	44,210,663 円
13	リニューアル記念事業開催経費	783,450 円
合計		2,294,031,399 円

## 第2章 計画

### 1 大規模改修事業基本計画の策定

中央図書館大規模改修事業は、平成 23 年3月の東日本大震災に伴い実施を見送られることになったが、平成 25 年度になって浦安市第2期基本計画【改訂】第2次実施計画において、計画事業として実施されることになったため、平成 25 年4月から中央図書館大規模改修プロジェクトの担当者を配置し、事業を進めることになった。担当の主な業務は、職員からの意見集約、大規模改修実施館の視察等による情報収集、基本計画の策定であった。

平成 27 年3月までに「浦安市立中央図書館大規模改修事業基本計画案」(以下、「基本計画」という。)をまとめ、生涯学習部内での調整を終えた。基本計画は、「1.大規模改修の経緯」「2.改修の基本的な考え方」「3.改修のスケジュール」の構成によって方針を示し、資料1として「主な改修内容」、資料2として「改修に当たっての注意点」を付けたものである。

#### 資料集 1

### 2 実施計画における位置付け

浦安市のファシリティマネジメントの方針では、鉄筋コンクリート造りの重構造物の場合、建替えを建設後 60 年、大規模改修を建設後 30 年としていたことから、建設後 30 年となる平成 25 年に先立ち平成 23 年度からの検討開始を予定する内容で、平成 23 年1月に浦安市第2期基本計画第2次実施計画が内示された。ところが、この2か月後の東日本大震災により、本市において液状化による甚大な被害があったことから、平成 23 年度の実施が見送られることになり、大規模改修は当面先送りとなった。

平成 25 年度になって第2期基本計画【改訂】第2次実施計画において、中央図書館大規模改修事業が計画事業として位置付けられ、再スタートできることになった。この後の第2期基本計画第3次実施計画においても計画事業として位置付けられ、平成 27 年度まで事業内容の検討、平成 28 年度に中央図書館周辺整備の設計、平成 29 年度から建物本体の設計、平成 30 年度から工事着工という基本スケジュールが固まった。

これらの計画策定に当たっては、施設の老朽化だけでなく、蔵書の収容能力を増強することも図書館としての大きな課題となっていた。生涯学習部内では、かねてから日の出分館のスペースが狭隘であることが課題になっており、平成 24 年度の第2期基本計画【改訂】第2次実施計画での要望では、日の出分館を含む日の出公民館の増築の中での閉架書庫を整備する案も模索しながら、中央図書館大規模改修に合わせた書庫棟増築を検討していた。

一方で中央図書館周辺は、開館当初から公園として整備される計画があり、市役所新庁舎および立体駐車場が供用開始されるとともに、総合駐車場が浦安公園として整備されることになった。これに伴って中央図書館の利用者用駐輪場および駐車場は中央図書館敷地内に整備することになり、書庫棟増築は断念せざるを得なくなった。

### 3 大規模改修事業のコンセプト

本来であれば、大規模改修事業のコンセプトは基本計画に先立って決まっているべきものだが、平成 28 年度になってから、やはり大規模改修事業のコンセプトを決めて進めた方が良好だろうという声が職員から出てきたことから、職員全員の意見を集め、大規模改修事業の担当者で議論し、コンセプトを決めることになった。

意見集約の結果、市民が「もっと使いたくなる図書館へ」なってゆくための3つの方向性として、1「居心地の良い図書館」、2「出会いのある図書館」、3「可能性を開く図書館」を決めた。

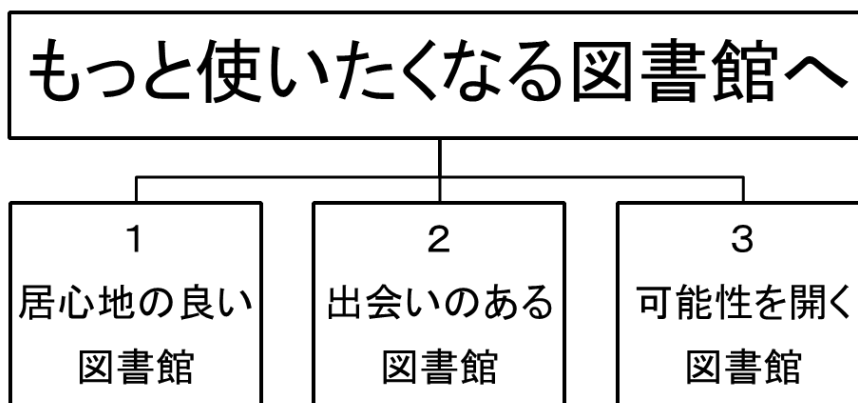
方向性1の「居心地の良い図書館」の内容は、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが使いやすい快適な施設を目指すこと、誰もが不便を感じることなく利用できる環境を整えること、ゆっくりと読書が楽しめるように読書環境を整えること、安心して親子でゆっくり利用できるスペースを増やすことなどとした。具体的な改修内容の例としては、空調設備の更新、授乳室の設置、トイレの改修、閲覧席の増設、親子がくつろげるのびのびひろばの設置などがある。

方向性2「出会いのある図書館」の内容は、人と人あるいは本と人との思いがけない出会いの場を提供するために、人の動線に配慮したカウンターや配置や、書架のレイアウトや案内、表示などを改善すること、電子資料など新しいメディアや利用方法を想定した通信環境を整え、将来の増設・移設に対応できるレイアウトを構築することなどである。具体的な改修内容の例としては、館内通信環境の整備、カウンターや書架のレイアウト変更、展示や発表ができるワークスペースの設置などである。

方向性3「可能性を開く図書館」の内容は、個人や地域の課題解決や、市民の夢を実現するための援助を行うこと、市民が学習成果を地域へ還元するための援助を行うこと、交流を通じて新たな知識を創造し、広く発信するための情報交換の場や機会を設けることなどである。具体的な改修内容の例としては、展示や発表ができるワークスペースの設置、レファレンスカウンターの改修などである。

この3つの方向性からなるコンセプトを決めたことについては、時期としてはやや遅かったが、職員からも評価の声が多かった。設計審査会などの役所内部での説明や、広報や市議会など外部に向けての説明にあたってはコンセプトを使うと理解してもらいやすく、市長にも広報うらやすのメッセージなどで使ってもらった。

【中央図書館大規模改修事業コンセプト】



#### 4 市民調査

中央図書館を市民にとって末永く快適で利用しやすい施設へ改修していくためには、市民から寄せられた意見や要望を適切に反映させることが不可欠であった。

市長への手紙や利用者の声といった形で寄せられる市民の意見・要望については、10年間にわたり蓄積していた。中央図書館の施設・設備に関する81件のうち、内訳としては、トイレが20件、空調関係が18件、学習室が13件などであった。

大規模改修工事の設計を開始した平成29年度には、中央図書館の施設・設備に関する市民アンケートを方法・対象者を変えて4回実施した。平成29年7月11日から17日にかけてインターネット市政モニター制度(以下Uモニ)により、7月22日から26日にかけて中央図書館の来館者に対し、9月22日から10月16日にかけて武道館、文化会館、市民プラザ、総合体育館、博物館の各利用者に対し、9月24日には総合防災訓練来場者に対し行った結果、合計で1,092名の市民から回答をいただくことができた。図書館以外の公共施設や多くの市民が参加するイベントでアンケートを行ったことにより、広く市民の意見を伺うことができた。

中央図書館で「充実してほしいと思う施設・設備」を尋ねたところ、最も多かったのがトイレで、中央図書館来館者で32.9%、Uモニで23.7%、2位は閲覧スペースで、来館者が14.9%、Uモニでは15.5%、3位は来館者では飲食スペースが14.3%、Uモニではインターネット環境が13.9%といった結果であった。これら上位の施設のほか、グループで学習したり、交流ができるスペースに対する要望も100名を超えていた。自由記入欄にも多数の意見をいただき、これらの結果を踏まえて設計に臨むことができた。

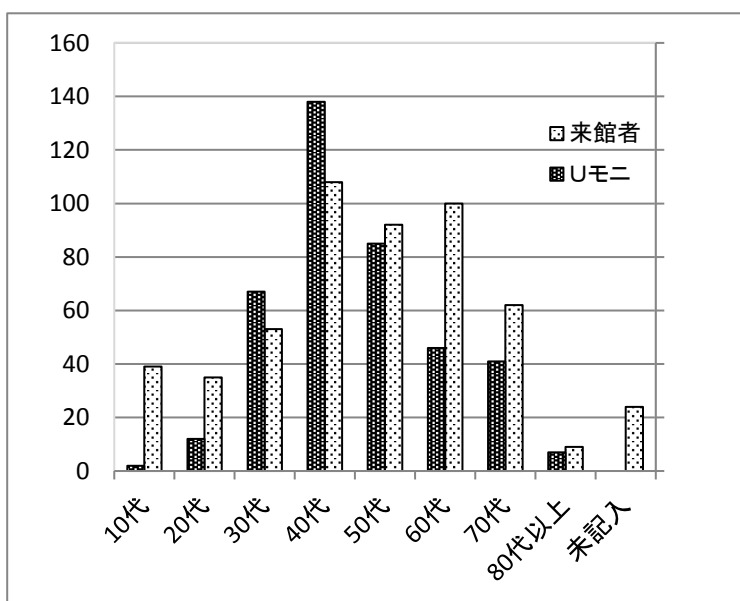
【来館者・Uモニアンケート結果概要】

来館者アンケート(中央図書館)	
実施期間:平成 29 年 7 月 22 日(土)、23 日(日)、25 日(火)、26 日(水)	
配布枚数	649
回収枚数	522
回収率	80.4%

Uモニ	
実施期間:平成 29 年 7 月 11 日(火)～17 日(月)	
配布枚数	730
回収枚数	398
回収率	54.5%

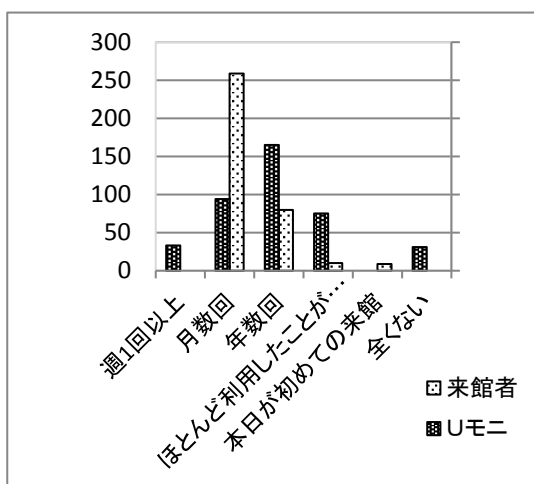
あなたの年齢は次のどれにあたりますか？

	来館者		Uモニ	
	人数	割合	人数	割合
10代	39	7.5%	2	0.5%
20代	35	6.7%	12	3.0%
30代	53	10.2%	67	16.8%
40代	108	20.7%	138	34.7%
50代	92	17.6%	85	21.4%
60代	100	19.2%	46	11.6%
70代	62	11.9%	41	10.3%
80代以上	9	1.7%	7	1.8%
未記入	24	4.6%		
計	522		398	



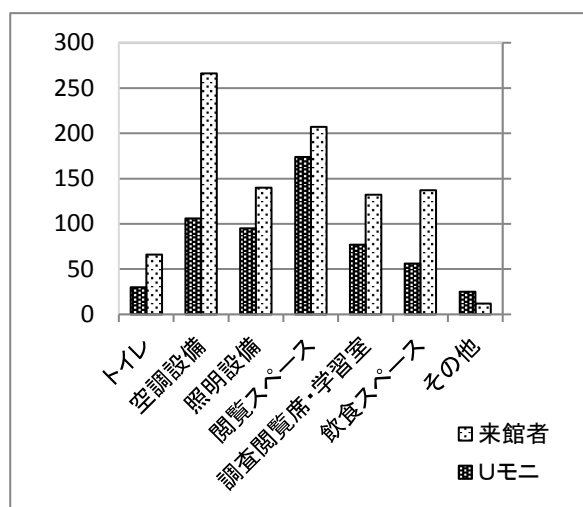
中央図書館を利用したことがありますか？その頻度はどのくらいですか？

	来館者		Uモニ	
	人数	割合	人数	割合
週1回以上	164	31.4%	33	8.3%
月数回	259	49.6%	94	23.6%
年数回	80	15.3%	165	41.5%
ほとんど利用したことがない	10	1.9%	75	18.8%
本日が初めての来館	9	1.7%	—	
全くない	—		31	7.8%
計	522		398	



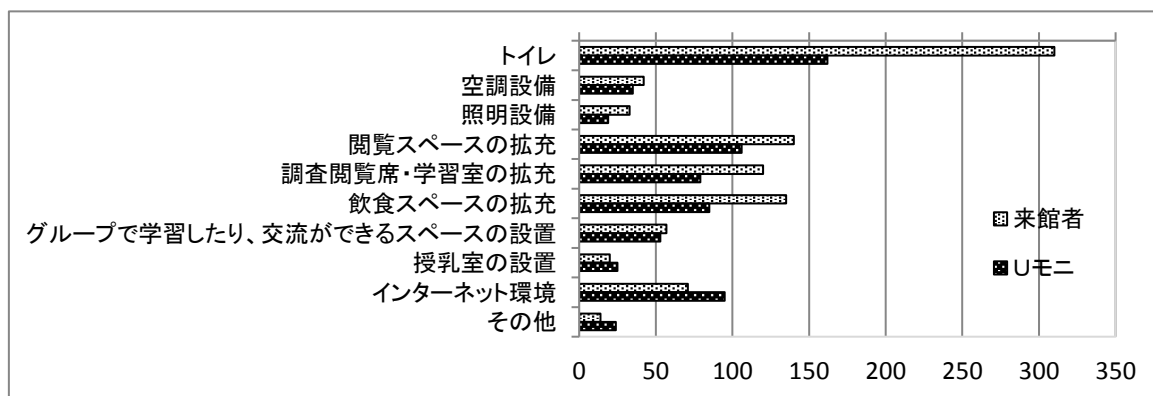
現在の中央図書館の施設・設備で満足しているところを教えてください。いくつでも選択してください。

	来館者		Uモニ	
	人数	割合	人数	割合
トイレ	66	6.9%	30	5.3%
空調設備	266	27.7%	106	18.8%
照明設備	140	14.6%	95	16.9%
閲覧スペース	207	21.6%	174	30.9%
調査閲覧席・学習室	132	13.8%	77	13.7%
飲食スペース	137	14.3%	56	9.9%
その他	12	1.3%	25	4.4%
計	960		563	



あなたが充実して欲しいと思う施設・設備の機能は何ですか。主なものを3つまで選択してください。

	来館者		Uモニ	
	人数	割合	人数	割合
トイレ	310	32.9%	162	23.7%
空調設備	42	4.5%	35	5.1%
照明設備	33	3.5%	19	2.8%
閲覧スペースの拡充	140	14.9%	106	15.5%
調査閲覧席・学習室の拡充	120	12.7%	79	11.6%
飲食スペースの拡充	135	14.3%	85	12.4%
グループで学習したり、交流ができるスペースの設置	57	6.1%	53	7.8%
授乳室の設置	20	2.1%	25	3.7%
インターネット環境	71	7.5%	95	13.9%
その他	14	1.5%	24	3.5%
計	942		683	



## 5 図書館協議会等の意見

### (1) 図書館協議会

図書館協議会に対しては、提言や答申といったまとまった形ではなかったが、大規模改修事業については、適宜進捗状況の報告を行ってきており、古くは平成 19 年度から大規模改修を見据えた施設に関する意見を伺っていた。平成 19 年度の第5回会議では、委員長のまとめとして、「施設の改修に当たっては、ライフスタイルの変化に合わせたものであることはもちろん、ソフト面の充実、中央図書館と分館の機能分担などこれまで出された意見を検証し、図書館本来の機能を考えることが必要である。また、大規模改修の先にあるもの、書庫の増築、利用者スペースの確保、ICチップ導入による蔵書管理の強化、職員の動線・業務スペースの確保について、増築や改築も視野に入れてゆくことを協議会として要望したい」と示されていた。

また、平成 28 年度第1回会議では、「大規模改修ではギャラリーなど人が集まれるスペースを作っほしい。飲食コーナーを作っただけでも、図書館のイメージが大きく変わった。博物館なども連携して、この地域で人を集めるという、発想を転換した事業を期待したい」「図書館は情報を提供する施設だが、情報は本の中だけでなく出会った人からも得られるものである。大規模改修では、市民のコミュニケーションの場、情報と出会う場となるよう、リニューアルしてもらいたい」といった、施設改修に留まらない図書館の方向性を示した意見をいただいた。

このほか、トイレ・閲覧席の拡充といった具体的な施設に関する要望とともに、広く明るい雰囲気など従来の良いところは活かしてほしいという意見もいただいていた。

### (2) 浦安市教育委員会点検・評価報告書における有識者意見

平成 28 年度の浦安市教育委員会点検・評価報告書では、有識者意見として以下のようなものがあった。

「これまでの図書館は、静かに本を読む場所・本の貸借の場としての機能だけであったが、今後は、ワークショップなど市民の学びあいの場としてのアクティブな活用を検討していくことを望む。また、大人も子どもも本離れが進んでいるので、本を手に取り、本に触れる機会をつくるにはどうすれば良いか改めて考える時期を迎えていると思う。」

これは先の図書館協議会の意見とともに、図書館の方向性を示す貴重な意見であり、コンセプトの肉付けやワークスペースなど新しい施設の導入にあたって参考となった。

## 6 市議会での質疑

平成 24 年度以降、閲覧席の拡充やインターネットの利用環境の改善に関する一般質問があったが、大規模改修事業が具体化した平成 28 年度以降、休館中の対応を含めた事業内容に関する本格的な一般質問を受けるようになった。これらの質問には、具体的な施設に関する要望のほか、中央図書館のリニューアルに関連して今後の運営体制に関することや、情報拠点というだけでなく、本来持つ役割を最大限生かせるよう、時代のニーズを捉えた大規模改修を実施するように、といった意見も含まれていた。

平成28年第2回定例会では、大規模改修の実施設計に関連して「新しい図書館をどのようなコンセプトでつくりたいと考えているのか、伺う」という一般質問があり、当時の教育長が以下のように答弁した。

「中央図書館は建築後 33 年が経過し、設備を含め建物全体で劣化が進んでいること、また、市民の図書館利用形態の変化や情報通信機器の進展に伴う整備が不十分であり、市民ニーズに対応し切れていないことが課題となっているところです。大規模改修においては、トイレの改修や授乳室の設置、滞在型の利用の増加に対応した閲覧席の増設など、市民がまた来たいと思える居心地のよさを重視した設備の充実を図ります。また、市民相互の交流や共同学習に対応し、情報検索、そして討議、発表等一連の知的な活動ができるスペースを導入するなど、市民が学習の成果を共有し、地域で広く生かすことができるような環境を整備してまいります」

これは、大規模改修の具体的な方向性について市議会で初めて答弁したものであり、コンセプトの3つの方向性を盛り込んだ内容を庁内外に示すことになった。

建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各契約案件を提出した平成30年の第4回定例会、周辺整備工事の契約案件を提出した令和元年第2回定例会では、契約内容に関する総括質疑があり、それぞれ教育民生常任委員会においても質疑があった。

参考資料 1) 浦安市議会教育民生常任委員会 中央図書館大規模改修関連質疑一覧

浦安市議会中央図書館大規模改修事業関連本会議質疑・質問

## 7 他館視察先

平成25年から29年度にかけて、改修・建て直しをした図書館を6館、移転・新設した図書館を7館視察した。

特徴的なものとしては、青少年センター・プラネタリウムを含む複合施設全体を図書館へ大規模改修した海老名市立中央図書館や、市民の交流を促す施設として運営している武蔵野市の武蔵野プレイスなどがあげられる。また、多くの大学図書館で導入が始まっているラーニングコモンズという学習スペースの実際例として千葉大学アカデミックリンクセンターを見学し、多様な学びに対応した空間構成や家具などを参考とすることができた。

### 【視察先一覧】

<移転・新設>

視察先・視察日	改修内容、改修・休館期間	参考になったこと
千代田区立 日比谷図書文化館 平成25年7月25日	東京都立日比谷図書館を所管替えて 大規模改修 移管後2年4か月でオープン	・色分けしたゾーンによる資料配置 ・ビジネスマンに特化した運営
港区立麻布図書館 平成27年11月11日	建て直し、駐車場廃止により敷地面積・ 延床面積増 代替は近隣の民間ビルを利用 5年間休館	・代替施設の平面図 ・休館中のサービス、業務内容



視察先・視察日	改修内容、改修・休館期間	参考になったこと
茨城県立図書館 平成 27 年3月5日	県議会議事堂を改修・移管 改修工事 1 年(休館は1か月)	・議事堂転用に際したレイアウトの工夫 ・長期休館中の業務内容や人員配置
文京区立真砂図書館 平成 28 年1月 28 日	大規模改修、平成 28 年 6 月再開予定、 代替は文京ソビックセンター教育委員会 フロアの一部 1 年間休館	・区民の意見を取り入れ、基本的な図書館サービスの充実させることを考慮した改修計画 ・機械室を設備機器のダウンサイジングにより書庫へ転用できたこと
海老名市立中央図書館 平成 28 年6月7日	青少年センター・プラネタリウムを含む複 合施設の全体を図書館へ 大規模改修 改修工事 8 か月	・カルチャア・コンビニエンス・クラブ (株)の指定管理で、スタイル提案型の 図書館における見せることを意識した 空間構成 ・明確なコンセプトを打出した運営手法
千葉大学アカデミック リンクセンター 平成 28 年 11 月 30 日	平成 24 年3月、アカデミックリンクの概念 の下、新たな学習空間の提供を行う増築 部分を含む新図書館を開館 平成 26 年 10 月に静寂空間と位置付け た建物の機能改善改修が完了	・大学図書館で主流となっているラー ニングcommons(学習スペース)を見学 ・多様な学びに対応した空間構成や使 用家具

<改修・建て直し・移管>

視察先・視察日	改修内容	参考になったこと
葛飾区立中央図書館・ 新宿図書センター 平成 25 年10月2日	平成 21 年 10 月中央図書館移転に伴い、最低 限の機能を残して旧葛飾図書館を新宿図書セ ンターとして書庫および団体貸出用に転用	・資料保存の体制 ・浦安には無いICタグシステム、 座席予約システム、グループ研 究室
飯能市立図書館 平成 26 年3月 19 日	平成 23 年 7 月、旧館から移転して開館(旧館は 昭和 49 年開館)	・IC タグによる資料管理システ ム、タブレット端末の館内貸出サ ービスなどの最新設備 ・社会人読書席(指定席)、グル ープ研究室
府中市立中央図書館 平成 26 年2月 20 日	平成 19 年 12 月に市民会館との複合施設である 「ルミエール府中」内にPFIを導入して開館	・予約棚コーナー、自動出納書 庫等ICタグを活かした運営

視察先・視察日	改修内容	参考になったこと
北区立中央図書館 平成 26 年 7 月 24 日	平成 20 年 6 月に旧館から移転して開館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 500 席の閲覧席、インターネット利用席、喫茶室など滞在型図書館としての設備</li> <li>・書架の高さ、書架間隔などバリアフリー対応</li> <li>・潤沢な作業スペース</li> </ul>
江東区立豊洲図書館 平成 28 年 2 月 5 日	<p>平成 27 年 9 月 23 日に旧館から新館を豊洲シビックセンターの 9～11 階に移転するかたちで開館。</p> <p>8 月 1 日に新館建物引き渡し、9 月 9 日(水)の 20 時まで旧館開館し引っ越しを 4 日間で完了。23 日(水)内覧会、24 日(木)開館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期間での引越し・開館準備作業など移転計画の詳細</li> </ul>
武蔵野ブレイス 平成 28 年 12 月 16 日	平成 23 年 3 月 31 日に閉館した武蔵野市立西部図書館を移転、拡充したもので、公益財団法人武蔵野学習振興事業団が指定管理者として管理運営を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の交流を促す施設として運営している点がリニューアル後の図書館の方向性を考える上で参考になった</li> </ul>
船橋市西図書館 平成 29 年 4 月 14 日	旧館が東日本大震災により被災したため、移転して平成 28 年 10 月に開館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧席の予約システム</li> <li>・展示ギャラリー、約 240 席の多様な閲覧席</li> </ul>

\* 北区立中央図書館は、図書館協議会県外視察で平成 30 年 1 月 26 日にも視察した。

## 第3章 設計

### 1 中央図書館周辺整備の設計

平成 29 年度から中央図書館周辺において浦安公園を整備することに伴い、関係各課の調整を行うため、平成 27 年度からみどり公園課を事務局とする浦安公園等整備連絡調整会議が開催され、これに中央図書館が出席してスケジュールや工事の調整を行った。この動きに合わせ、平成 28 年度に建物本体に先行して利用者用駐車スペースを整備する中央図書館周辺整備の設計に着手した。平成 28 年6月に指名競争入札を実施し、株式会社鈴木建築設計事務所と12月までの期間で契約を締結した。契約金額は3,920,400円であった。

また、これに合わせて敷地測量業務についても、平成 28 年 7 月に京葉測量株式会社と9月までの期間で契約を締結した。浦安公園となる隣接区域はすでにみどり公園課が同社と契約して測量を実施していたことから、一社随意契約とし、契約金額は961,200円であった。

7月から8月にかけて設計者は中央図書館来館者の交通手段の調査を行い、自動車、バイク、自転車それぞれのピーク時の台数を把握した。設計の結果、収容できる台数は自動車 68 台(うち車椅子用3台、公用車用1台)、自転車 120 台、オートバイ6台となった。自動車については、ピーク時の台数には不足するため、満車時には、市役所の立体駐車場や健康センターの駐車場を使用してもらうことにし、誘導が必要になることが想定された。

浦安公園整備事業では、みどり公園課を事務局とし、道路管理課、財産管理課、中央図書館が参加した庁内の検討委員会において連絡調整が行われた。中央図書館としては、駐車台数を最大限確保する必要があったことから、隣接する東小学校との間の歩行者専用道路側に中央図書館の敷地を拡張するよう調整を進めた。従来この歩行者専用道路は道路管理課の管轄であったが、公園整備に伴いみどり公園課の管轄の通路となり、管轄の変更を経た調整の結果、緊急車両が通行可能な4メートルを確保した上で、東小学校側に約1メートル中央図書館の敷地を広げることになった。

駐車場の入口については、平成 28 年度の段階では従来の公用車用駐車場と同じ東小学校寄りになっていたが、平成 30 年度になってから、この入口が市道と交差するT字路に近接していることが指摘されたことから、郷土博物館側に移すことになり、設計変更を行った。この結果、駐車枠や走行ルートが若干変更されることになった。

また、入口の移動によりコミュニティバスであるおさんぼバスの「中央図書館」の停留所に近くなることから、停留所の移動について、担当課である都市計画課と調整することになった。都市計画課が運営会社である東京ベイシティ交通と調整し、停留所を博物館寄りに移動することにした。さらに営繕課との調整により、中央図書館周辺整備工事の中で停留所移設に伴うガードレールの再設置等を含めて行うことになった。

### 2 建物本体の基本設計

中央図書館大規模改修工事設計業務については、平成 29 年度当初予算に委託料を計上する予定で進めていたが、平成 29 年3月に内田市長が就任されたことから、平成 29 年度当初予算は骨格予算となり、6月議会で中央図書館大規模改修設計業務の補正予算が計上されることになった。8月に

指名競争入札が行われ、(株)佐藤総合計画(以下「設計者」と契約額7,538万4千円(税込み)で契約した。

9月から設計者による館内事前調査が開始され、10月には館内アスベスト状況調査が行われた。図書館側からは、基本計画、コンセプト、市民調査の結果などの資料を提供し、営繕課の担当者が出席した定期的な会議で改修内容の設計案の提示を受けながら基本設計をまとめていった。

基本設計の段階では、1階の利用者用トイレを書庫に集約して拡充し、エントランスのトイレのスペースは閲覧スペースなどに転用する案が検討されていた。また、本館2階では、廊下の位置の変更により事務室を拡張する案の検討の中で、視聴覚室からの避難経路の必要性から、視聴覚室に屋外階段を設ける案があった。

12月に第1段階の設計審査会で上記の案も含めた基本設計案が審査され、設計内容については、「1階トイレを増築するか、既存トイレの拡張改修にするか再度検討すること」および「2階職員執務室の改修計画は、屋外階段の無いB案の平面で検討すること」との結果となった。工事費については、総額23億円(消費税込み)を上限として設計を進めることとされた。

この審査結果を市長に報告したところ、1階トイレについては、中央図書館の周辺で整備される浦安公園の利用者がトイレを利用することを考慮すると、エントランスにあった方がよいとの意向が示されたことから、既存の場所での拡充案で設計を進めることになった。また、ラウンジについては、出入口は新たに設けずに公園利用者からも飲み物が買えるような改修方法の検討を指示された。

### 3 平成30年度予算における工事費の計上

工事費の予算については、平成30年度から令和元年度に渡る継続費として計上した。設計業者が過去の実績等に基づいて積算し、設計審査会で上限額とされた23億円の工事費の平成30年度の出来高を1割として、平成30年度予算は2億3千万円とした。

工事監理業務委託は、国土交通省の設計業務等技術者単価等に基づき、営繕課が積算した概算設計金額が約30,155千円、1年間の工事期間の想定のうち平成30年度中は1月から3月の3か月であることから、 $30,155 \text{ 千円} \times 3/12 \text{ か月} = 7,539 \text{ 千円}$ とした。

また事業費が20億円を超える予算規模となり、単年度における財政負担を分散させる趣旨から市債を平成30年度の歳入に計上した。充当率75%、償還年限10年の市債で、30年度に計上した工事費および工事監理業務委託費の合計金額の9割分の額の75%である1億6,030万円を計上した。

### 4 入札監視委員会

本市では、入札・契約手続きの公平性・公正性の確保と透明性の向上を図るため、入札監視委員会を設置して審議を行っている。平成29年12月26日に開催された、平成29年度第1回浦安市入札監視委員会では、中央図書館大規模改修工事設計業務委託が案件として取り上げられ、審議を受けることになった。

当日は事業目的や設計業務の概要について館長より説明した後、庁外の委員3名から、設計内容や指名競争入札とした妥当性、図書館運営等について質疑があった。

## 5 実施設計

平成 30 年2月からは実施設計の段階となり、部屋ごとの設備や備品の位置等を記載した諸元表の作成を開始した。設計者より諸元表の提示を受け、部屋ごとに担当する係を決めてそれぞれ設備や備品の位置や機能について詳細に検討を進め、結果を設計の定例会議で報告し、図書館側の疑問の解決と調整を図った。3月末には設計者より諸元表のチェックバックに基づく改修平面図、建築改修計画、概算工事費、工程表が提示され、その後は、設備やデザインの仕様の確認と調整を進め、第2回設計審査会に向け準備した。

平成30年5月31日に行われた第2回設計審査会の審査の結果、設計内容および工事費については、申請のとおり承認されたが、更なる検証を行いコスト縮減に努めることとされた。また、結果通知書には、「ワークスペースの整備について、利用方法や運営方法の考え方を検討すること」との意見が付された。

### (1)改修内容

第2回設計審査会で提出した設計審査シートに記載した改修内容は以下の表のとおりである。

A:経年劣化対応 B:利用者等要望 C:省エネルギー対応 D:社会的対応・図書館機能強化

改修箇所		A	B	C	D	
地下1階改修工事	本館棟	旧移動図書館車庫を作業スペース、警備員・設備管理者控室、ゴミ置き場へ改修	○			○
		閉架書庫の集密書架を更新				○
		便所の衛生器具・配管を更新(洋便器化)	○			○
		管理室を電気室へ改修				○
		エレベーター機械室を倉庫に改修	○			
		受水槽室の水槽・ポンプ・配管、消火栓ポンプを更新	○			
	書庫棟	空調機械室の主要熱源機器・配管を更新	○		○	
		閉架書庫の書架を一部集密書架へ変更				○
		便所の衛生器具・配管を更新(洋便器化)	○			○
		エレベーター機械室を倉庫へ改修	○			
空調機械室の主要熱源機器・配管を更新		○		○		
エレベーターホールの流し台更新、電気温水器新設	○					

改修箇所		A	B	C	D	
1階改修工事	エントランスホール					
	多機能トイレを含むトイレの改修および拡張(追加)		○		○	
	一般開架室	南側窓下書架を撤去し閲覧席を新設		○		○
		ワークスペースを新設(追加)				○
		中央カウンターの新設、カウンター内をOAフロアへ改修				○
		西側書架の増設				○
		インターネットコーナーを飾り棚へ改修				○
	児童室	授乳室の新設		○		○
		幼児用トイレの改修	○			○
		児童受付カウンターの新設・位置変更				○
		幼児コーナーの新設		○		○
		おはなしのへやの改修(開戸→引戸へ改修)	○			
	レファレンス室	カウンター、書架の改修、北側のソファを書架へ改修				○
		閲覧席の拡張		○		○
		トップライトの閉塞(漏水対策)	○			
	作業事務室	防火戸の改修(冷暖房の効率化)			○	
	書庫棟	学習室の間取り変更		○		○
		トイレスペースの拡張(追加)		○		○
		コンピューター室を視聴覚コーナーへ改修(変更)		○		○
		視聴覚コーナーをカウンターへ改修				○
対面朗読室の改修(変更)					○	
※第一段階ではロッカーに改修					○	
湯沸室を倉庫へ改修					○	
2階改修工事	本館棟	事務作業室、スタッフラウンジの拡張				○
		トイレスペースの拡張		○		○
		更衣室の間取り変更				○
		視聴覚室に倉庫を増設				○
		集会室、応接室の間取り変更				○
塔屋階改修工事	太陽光発電設備の設置			○		
	個別空調化に伴う室外機の設置			○		

このほか、市長から指示を受けていたラウンジ棟の改修については、浦安公園側から飲み物等が買えることができるカウンターを設置することになった。

## (2) 電動集密書架の導入と蔵書の収容能力について

中央図書館の蔵書は改修前、収容能力約 64 万冊に対し約 80 万冊で、1割程度が常に貸出されているとしても、収容能力を超えており、閉架書庫では、書架に収納しきれない図書が床置きされる状態が常態化していた。さらに、将来的に書庫が増築された際に戻すことを想定して平成 19 年度から民間倉庫と契約して外部倉庫で保管を開始しており、それが約3万冊程度になっていた。前述のとおり、市の実施計画における庁内調整の中で書庫は増築できなくなったことから、閉架書庫への集密書架導入による収容能力増強は不可避的な課題となった。

書庫棟の閉架書庫は建設に際して将来的な集密書架導入を想定した構造になっており、図書館としては、最大限の集密書架導入を要望したが、設計者があらためて構造計算をした結果、全面設置は難しく、3分の2程度のスペースに設置することになった。電動式と手動式が検討されたが、コストと使い勝手、実際の導入館を視察した上で比較検討した結果、従来から手動式の集密書架があった本館閉架書庫を含め、電動式集密書架を導入することに決まった。

開架部分では、一般開架室の南側の窓下の書架を撤去して閲覧席にすることやワークスペース新設による収容冊数約 12,000 冊の減少を、4段の低書架3連を6段の高書架とすることにより補うことにしていた。それでも改修前より6,000 冊程度収容冊数が減少することになった。

以上の書架配置の変更により、中央図書館全体の収容冊数は、約5万冊増加の約 69 万冊となり、浦安市立図書館全体の蔵書冊数の上限は、分館7館の蔵書を加えた全体で約 115 万冊となる見通しとなった。これを浦安市のピーク時の想定人口で算定すると、市民一人当たり 6.7 冊となる。

## (3) 閲覧スペースの拡充について

閲覧スペースについては、市民調査においてもトイレに次いで拡充の要望が多く、座席数の増加だけでなく、コンセプトの実現を市民が最も実感できる場所として重視しなければならない改修部分であった。

具体的には、一般開架室の南側は窓下が書架となっていたが、これをすべて撤去して窓側に向けたテーブルと椅子を設置し、前面に浦安公園が広がる風景も楽しめる閲覧スペースとした。また、市民調査では、個人の閲覧だけでなく、グループ学習や交流ができるスペースに対する要望も少なくなかったことから、市民が生涯学習の成果を発表する場としても使える多目的スペースを新たに設けることを検討した。

基本設計の段階では多目的スペースは書庫棟に設置することを検討していたが、トイレ増築案が無くなった時点でスペースの確保が難しくなったことから、一般開架室に設置することにした。ソファだけでなく文庫架2面を撤去してスペースを確保し、音の伝わりを抑制するための仕切りをガラス製とすることで中の様子が見通せるようにした。エントランスホールの近くにワークスペースとして設置することで、誰でも気軽に使いやすいスペースとなった。ギャラリー的な使い方を想定して、天井のレールに沿って引き出せる展示パネルとスクリーンを設置するとともに、30 人程度まで人数に応じて組み合わせて使用できるテーブルと椅子を常備した。

上記のような改修により、学習室を含めた座席数は、改修前の約 300 席から 30 席程度増やすことができた。

#### (4)中央カウンター周辺について

中央カウンターは、一体型のメインカウンターとして使用していたが、フロアに出て利用者を案内する際に職員がカウンターの端に回り込んで出ていかなければならなかったため、貸出カウンターと本の案内コーナーの間、返却カウンターと登録カウンターの間の 2 か所を切断して通路を設けることにした。

中央カウンター上部は、従来吊り下げ型の照明ユニットを設置していたが、これを撤去して飾り棚とした。ここは図書館に足を踏み入れた利用者が最初に目にする場所として重視し、活用の仕方を検討していたが、図書館協議会委員長の助言をいただき、定点撮影で撮りためた浦安市内の写真を専用パネルに収めて展示することにした。

中央カウンター脇のインターネットコーナーの前には、この飾り棚と一体となった図書の展示棚を新設した。ここにも浦安に関連した地域資料を展示し、中央カウンター回りを浦安をアピールするエリアとして想定した。

#### (5)トイレの拡充について

トイレは平成 12 年の設備改修工事において一部を洋式化し、内装を新しくするなど改善していたが、その後も排水管の詰まりや臭いなど老朽化による不具合が発生しており、市民調査でも改善を望む声が一番多い設備であったことから、大規模改修において全面的に改修することにした。

バリアフリー化と各世代での使いやすさを重視し、エントランスホールでは、多目的トイレをオストメイト対応とするなど拡充し、本館 2 階で新設した親子トイレには、おむつ交換台や介助シートを装備し、各フロアでベビーチェア付きのブースを配置した。増設した設備は、本館 1 階で女性用ブース 1 室、本館 2 階で男性用ブース 1 室、小便器 1 器、女性用ブース 2 室、洗面台 1 器、書庫棟で男性用ブース 1 室、女性用洗面台 1 器となった。また、エントランスホールについては、断水時に水を 5 分の 1 に減らしても使用できる災害対応トイレとした。

#### (6)太陽光発電等の導入とデジタルサイネージについて

本市では、公共施設の新設や大規模改修工事に当たって、太陽光発電パネルを設置することになっていることから、中央図書館においても照明器具の電気容量に相当する 50kw の発電可能なパネルを 1 階の屋根および塔屋階に設置することになった。

太陽光発電導入施設では発電量をディスプレイで表示することが通例となっていたが、エントランスホールでの各種情報の提供方法の検討の中で、太陽光発電以外の施設やサービスも合わせて表示可能なデジタルサイネージを導入することになった。タッチ式でメニューが選べるタイプで、メニューには館内施設案内、行事、休館カレンダー、バス時刻表などがある。

このほか、エントランスホールには入館者を計数できるタイプの監視カメラを導入した。



## 第4章 実施

### 5 工事関係

中央図書館の大規模改修事業と並行して、中央図書館周辺では浦安公園の整備事業も本格化していた。その一環として、これまで図書館利用者用の駐車場・駐輪場としても使用していた総合駐車場がその浦安公園の一部として整備されることで閉鎖が決まり、大規模改修事業周辺整備工事に含める形で敷地内に新たに利用者用駐車場・駐輪場を整備することになった。平成 28 年6月、中央図書館周辺整備設計業務委託契約を締結し、敷地内建物周辺を整備するための設計業務が開始された。敷地測量業務や駐車場・駐輪場の利用状況調査による必要台数の把握など、平成 28 年度末にかけて当該設計業務は続けられ、中央図書館の敷地内に自家用車 68 台分、自転車約 120 台分、バイク6台分の駐車場・駐輪場を新たに整備する見込みになった。

平成 29 年度～30 年度にかけて行われた大規模改修工事の設計業務を経て、中央図書館大規模改修事業は建築、電気設備、機械設備、周辺整備の4件の工事に分けて発注することになった。平成 30 年 11 月にまず、建築、電気設備、機械設備の各工事について入札を実施した。その際には機械設備工事が入札不調となり、後日再入札を実施するということがあったが、仮契約ののち、第4回定例会での承認を経て本契約締結となった。

工事着工前最後となる開館日を迎えたのち、約1か月を要した図書や備品類の搬出作業が完了した平成 31 年 2 月より大規模改修工事は本格的に着工した。以降は、毎週火曜日に開催される担当者会議に出席し、工事の進捗状況についての報告を受けるとともに、仕様の詳細確認や内装等に関する色や部材の決定など細部にわたって検討を進めていった。

令和元年 5 月には、本体工事との関係で着工時期をずらしていた周辺整備工事の入札を実施した。仮契約後、第2回定例会での承認を経て本契約を締結し、8月より本格着工となった。しかし、地盤改良に際して地中障害が認められたことで、障害物の撤去のため施工計画の見直しを余儀なくされたため、周辺整備工事については、リニューアルオープン予定である 3 月中旬まで工期を延長することになった。

また、工事を進める中で、壁および天井の仕上を解体したところ、隠ぺい部の排煙窓開閉機構部分に著しい劣化が判明した。今後の建物耐用年数まで交換することなく利用することは難しく、本工事の内装仕上工事前に交換することが合理的であると判断し、9月議会での承認を経て建築工事契約の設計変更を行った。

工期中、まれにみる大型台風の接近による暴風雨の影響を、2度にわたって受けながらも各工事は予定通りに進み、令和2年1月には各種の完成検査を乗り切り、1月 31 日に竣工、引き渡しとなった。その後、図書や備品類が保管倉庫から戻される中で、搬入車の出入りを調整ながら周辺整備工事は続行され、3月 13 日に竣工を迎えて、中央図書館大規模改修工事はすべて完了した。

## 中央図書館大規模改修工事

件名	施工業者	契約金額
中央図書館大規模改修建築工事	浦安建設協同組合	1,041,937,800 円
中央図書館大規模改修電気設備工事	サンワコムシスエンジニアリング(株)	243,756,000 円
中央図書館大規模改修機械設備工事	須賀・光特定建設工事共同企業体	506,336,400 円
中央図書館周辺整備工事	浦安建設協同組合	229,900,000 円
合計		2,021,930,200 円

## 6 移転関係

中央図書館大規模改修工事に伴う物品(図書館用資料を含む)の調査および搬出入並びに保管等の業務については、公募型プロポーザル方式で選定を行った。平成30年5月25日から6月22日までの募集期間を経て2社からの応募があり、第1次、2次審査の結果受託予定者を選定し、平成30年8月、契約額150,235,015円で(株)ナカバヤシ(以下「受託業者」)と契約締結を行った。

参考資料2)公募型プロポーザル募集要項、内容書

### (4) 什器

平成30年4月より職員が調査した什器類のリストをベースに、受託業者が9月に再調査を行い正式なリストを作成した。それを元に倉庫へ預けるもの、集合事務所で使用するもの、廃棄するものと振り分け作業を行った。什器リストは約800項目におよび、すべての什器について個々の状態や改修後の配置先などの検討を行った。12月から個々の什器へのシール貼付作業を開始、当月中に作業を完了させ、年明け平成31年1月4日から3日間で集合事務所への移転を実施した。中央図書館から倉庫への搬出は2月2日までに終了した。

令和元年度、再度什器類の調査を行った。集合事務所で使用していた什器類の再検討と、リニューアル後の中央図書館の各部屋への配置を決定していった。

竣工後令和2年2月1日より倉庫からの搬入を開始した。事務所の移転は2月25日、26日で行い、27日に電話、コピー機の移設、郵便物の配達先の変更を行った。

新規購入の什器の納品と調整をしつつ倉庫からの什器の搬入を行い、3月5日をもって終了とした。

### (5) 図書館資料

工事により棚の構成が変更となったため、平成30年度、蔵書構成方針の大枠を決定した。その後受託業者により日本十進分類法を基にした蔵書量の計測が行われた。中央図書館休館中に分館で利用する資料の方針を資料別に決定し、移管計画を作成した。同時に基本図書リストを作成し、分館で一時的に保管し、市民が利用できるようにした。分館への基本図書の送付は、平成30年10月、11月に行った。

中央図書館から倉庫への搬出は休館後の平成 31 年1月4日から開始し、2月2日までに終了している。

休館後に中央図書館で購入した資料は、一部を除き各分館の担当分野ごとに配置して利用した。また、中央図書館用の資料購入費を最小限に抑えるため、分館購入分を増加させたが、そのうちの一部をリニューアルオープン後中央図書館へ移管するものとして購入した。

フロア別配置計画を元に、受託業者から提示されたゾーニング案を検討し、決定した。さらに細かい配架シミュレーションの検討、決定を行った。

竣工後令和2年2月1日より中央図書館各フロアの養生を開始し、倉庫からの物品搬入を行った。フロアごとに委託業者の棚入れ、職員による書架整理、休館中に活用していた資料の棚入れなどを行い、3月 15 日までに委託業者による資料の搬入、整理が終了した。さらに蔵書構成の各分野担当ごとに除架、移動、整理を行った。

参考資料3)資料形態別移管計画表

参考資料4)休館中雑誌一覧、平成 30 年度浦安市立図書館新聞購読一覧(2019 年1月～)

参考資料5)浦安市立中央図書館ゾーニング図面

本館1階 開架、児童室、レファレンス室、本館地下  
書庫棟1階、書庫棟2階、書庫棟地下

## (6) 新規備品

平成 30 年度、既存の什器の調査と同時進行で、新規備品の選定、予算要求資料を作成した。図面の確定を受け、各フロア、部屋ごとの選定、配置の決定、契約準備を進めた。

令和元年度、フロアごとに物品の選定を行い、それぞれで入札を行った。契約、搬入時期は、次の通り。

ア 中央図書館本館 2 階事務室備品の購入	2月
イ 中央図書館本館 2 階視聴覚室等備品の購入	2月
ウ 中央図書館ブックトラックの購入	2月
エ 中央図書館書架サインの購入	2月
オ 中央図書館本館地下備品の購入	3月
カ 中央図書館本館 1 階備品の購入	3月
キ 中央図書館学習室備品の購入	3月
ク 中央図書館書庫棟備品の購入	3月

## 7 休館中サービス

### (4) 臨時窓口サービス

中央図書館周辺住民のために臨時窓口で行うサービスの決定と同時に、サービス拠点を確保するよう庁内調整を進めた。

平成 29 年4月、市長の引き継ぎ事業ヒアリングの中で、集合事務所を使用し、予約資料の

受取りサービス等を行う窓口を設置することについて市長の了承が得られた。8月、財産管理課、公益財団法人うらやす財団との調整が終了し、集合事務所1階と4階を図書館で使用し、1階に臨時窓口を設置してサービスを行うことが決定した。

休館後、事務所の移転とともに什器等物品の搬入を行い、平成31年1月10日よりサービスを開始した。

中央図書館改修工事竣工後、事務所の移転後も、中央図書館リニューアルオープン直前までサービスを継続する予定だったが、令和2年3月2日より、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として休館となり、業務終了となった。

参考資料6) 集合事務所配置図

参考資料7) カウンター基本事項1月改定

参考資料8) 臨時窓口シフト表(令和元年8月～)

参考資料9) 中央図書館臨時窓口の業務内容について

#### (5) 分館サービス

分館へは、非常勤職員(現・会計年度任用職員)を追加で配置し、業務用の図書館システム用端末も増設した。利用状況は、リクエスト件数、利用登録数ともに倍増となった。各館ごとに担当分野を決め、中央図書館の基本資料および新規購入資料を保管し、利用者のニーズに可能な限り対応できるように努めた。

分野ごとの利用状況については「分野別貸出冊数増減率(対平成30年度比)」の通りで、概ね増加傾向となった。

担当分野は次のとおり(文学については全館で分担)

ア 堀江分館	コンピュータ・技術・工学・家政学
イ 猫実分館	総記・哲学・宗教
ウ 富岡分館	自然科学・医学
エ 美浜分館	歴史・地理
オ 当代島分館	芸術・スポーツ・娯楽
カ 日の出分館	教育・民俗・軍事・産業・語学
キ 高洲分館	社会科学

#### (6) 休館中利用分析

休館期間が、平成30年12月から令和2年3月までと複数年にわたっていることから、ほぼ1年間の休館となった令和元年度の統計で比較を行った。

令和元年度の貸出しは全館で1,394,341冊、目標121万冊の116%という数値で達成した。月別では2月までは分館が健闘した。3月はわずか8日間の開館で前年度(開館日数26日)の59%まで追い上げ、リニューアル後の中央図書館への期待値の高さが現れている。

各分館、サービスコーナー利用比較(令和元年度、平成 30 年度比)

施設	貸出数		問い合わせ件数		備考
	平成 30 年度比	増減率	平成 30 年度比	増減率	
堀江分館	35,326	31.7%	3,259	65.1%	
猫実分館	61,087	78.0%	3,158	54.7%	公民館大規模改修のため 30 年度は7月まで休館
富岡分館	33,472	20.5%	4,952	38.3%	
美浜分館	-43,653	-38.8%	-3,929	-39.6%	公民館大規模改修のため元年度は9月から休館
当代島分館	-2,791	-3.1%	324	6.5%	
日の出分館	42,299	17.8%	4,736	36.7%	
高州分館	10,851	5.7%	1,186	14.8%	
分館計	136,591	13.9%	13,686	23.0%	
新浦安駅前図書 SC	-20,278	-10.9%	—	—	
舞浜駅前行政 SC	2,141	9.5%	—	—	
浦安駅前行政 SC	571	1.6%	—	—	
駅前計	-17,566	-7.2%	—	—	
合計	-339,322	-19.6%	-32,023	-29.9%	

ア 臨時窓口の状況

臨時窓口は中央図書館の近隣地域住民のために、予約資料の貸出しと返却に特化して開設した窓口であり、平成 31 年 1 月 10 日から令和 2 年 3 月 1 日まで開設した。貸出総数 33,651 冊の 61%が猫実や海楽、東野など、中央図書館周辺地域に居住する市民の利用であった。中央図書館近くの施設に設置したことにより、機会損失を避けられたと思われる。

イ 分館の利用状況

中央図書館休館以降、中央図書館利用者の分館への利用移行の傾向は令和元年度に入ってからさらに進んだ。令和元年度の利用状況は、貸出数(前年度比 136,591 件増:13.9%増=分館合計)、リクエスト件数(前年度比 8,065 件増:16.2%増=分館合計)、問い合わせ件数(前年度比 13,686 件増:23.0%増)がそれぞれ著しく増加しており、事務量の増大がより際立ったものとなった。特に利用増が著しかった分館については、非常勤職員(現・会計年度任用職員)の追加出勤等の措置で対応した。

各分館月別貸出冊数

堀江分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	11,154	10,907	12,379	12,544	13,199	11,901	11,397	11,673	11,938	107,092
平成30年	7,291	7,839	7,640	7,932	7,432	8,344	7,888	7,681	7,308	69,355
増減	3,863	3,068	4,739	4,612	5,767	3,557	3,509	3,992	4,630	37,737
増減率	53%	39%	62%	58%	78%	43%	44%	52%	63%	54%
猫実分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	10,795	10,039	11,659	11,038	11,550	11,310	10,978	11,817	12,289	101,475
平成30年	0	0	39	3,453	7,258	7,400	7,239	7,529	7,588	40,506
増減	10,795	10,039	11,620	7,585	4,292	3,910	3,739	4,288	4,701	60,969
増減率	—	—	29795%	220%	59%	53%	52%	57%	62%	151%
※2017年10月1日から2018年7月16日まで公民館大規模改修工事のため休館										
富岡分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	15,154	13,969	16,219	15,843	17,311	14,577	15,073	15,287	16,124	139,557
平成30年	11,276	11,606	11,465	12,053	12,661	12,143	11,344	11,117	11,697	105,362
増減	3,878	2,363	4,754	3,790	4,650	2,434	3,729	4,170	4,427	34,195
増減率	34%	20%	41%	31%	37%	20%	33%	38%	38%	32%
美浜分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	11,145	10,246	11,261	11,323	11,567	7,405	214	0	0	63,161
平成30年	7,449	7,501	7,423	7,668	8,769	8,072	7,722	7,733	8,524	70,861
増減	3,696	2,745	3,838	3,655	2,798	-667	-7,508	-7,733	-8,524	-7,700
増減率	50%	37%	52%	48%	32%	-8%	-97%	—	—	-11%
※2019年9月23日から2020年10月6日まで公民館大規模改修工事のため休館										
当代島分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	7,043	6,645	7,445	6,917	7,470	7,357	6,257	7,070	7,196	63,400
平成30年	7,889	7,443	7,471	7,138	7,167	6,772	6,348	6,048	6,216	62,492
増減	-846	-798	-26	-221	303	585	-91	1,022	980	908
増減率	-11%	-11%	0%	-3%	4%	9%	-1%	17%	16%	1%
日の出分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	19,885	18,696	22,203	22,183	23,315	20,827	21,673	23,281	24,815	196,878
平成30年	17,252	16,360	16,983	18,020	18,625	17,201	17,820	17,331	17,831	157,423
増減	2,633	2,336	5,220	4,163	4,690	3,626	3,853	5,950	6,984	39,455
増減率	15%	14%	31%	23%	25%	21%	22%	34%	39%	25%
高州分館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	15,537	14,301	17,312	17,176	19,023	15,305	14,831	15,635	16,526	145,646
平成30年	14,345	14,276	14,079	15,373	16,708	14,704	13,306	13,425	14,581	130,797
増減	1,192	25	3,233	1,803	2,315	601	1,525	2,210	1,945	14,849
増減率	8%	0%	23%	12%	14%	4%	11%	16%	13%	11%

各分館分野別貸出冊数増減率（対平成 30 年度比）

分類	堀江	猫実	富岡	美浜	当代島	日の出	高洲
0	<b>119.3%</b>	<b>113.1%</b>	<b>34.7%</b>	89.3%	-2.4%	18.9%	<b>27.0%</b>
100	42.6%	<b>162.3%</b>	23.3%	<b>114.8%</b>	<b>0.5%</b>	8.4%	<b>9.7%</b>
200	36.4%	<b>86.6%</b>	17.9%	41.1%	-4.5%	15.8%	4.0%
300	<b>47.0%</b>	62.4%	20.7%	105.1%	-5.8%	13.9%	8.4%
400	42.8%	72.0%	<b>38.9%</b>	<b>138.5%</b>	<b>13.8%</b>	7.4%	<b>14.1%</b>
500	<b>38.5%</b>	57.9%	5.9%	86.7%	-6.9%	5.4%	2.2%
600	14.6%	42.2%	-2.8%	79.1%	-19.4%	<b>21.0%</b>	-5.9%
700	38.4%	78.3%	16.1%	35.9%	<b>24.3%</b>	11.9%	4.1%
800	<b>56.7%</b>	66.2%	<b>32.4%</b>	<b>173.8%</b>	-28.2%	<b>36.4%</b>	0.1%
900	27.2%	77.4%	21.4%	73.3%	-8.0%	<b>23.8%</b>	1.7%
一般書合計	35.2%	76.3%	19.4%	75.4%	-4.7%	17.4%	4.0%
児童書	23.7%	81.5%	18.1%	52.2%	0.5%	18.9%	0.0%
レファ資料	153.3%	177.8%	48.9%	159.3%	-72.2%	-4.2%	0.0%
地域資料	25.3%	<b>92.2%</b>	43.8%	25.0%	1.2%	15.9%	4.8%

※太枠は中央図書館の資料の担当分野、太字は一般書での上位 3 位まで。

※猫実分館は公民館大規模改修のため平成 30 年度は7月まで休館

※美浜分館は公民館大規模改修のため令和元年度は9月から休館

#### ウ マーレ図書サービスコーナー、駅前行政サービスセンター

##### (ア) マーレ図書サービスコーナー(以下「マーレ」)

中央図書館が前年度1月から休館し、マーレに利用者が移行することが予想されていたが、分館では見られたこの増加現象がマーレでは見られず、逆に年度当初から減少傾向となっていった。

図書館に来館して書架から資料を選ぶ利用者と、インターネットで予約した資料のみを借りる利用者とは存在しており、中央図書館への来館者がインターネット予約へ移行することは少なかったとみられる。また、中央図書館の蔵書の大部分が倉庫に保管されて利用できなくなったことが、インターネット予約の件数の減少にも影響したと考えられる。

(イ) 舞浜駅前、浦安駅前行政サービスセンター

舞浜駅前、浦安駅前行政サービスセンターのどちらも、中央図書館休館中の利用は微増であった。それぞれの行政サービスセンター近隣分館が休館した時ほどの利用増が見られない理由としては、マーレと同様と考えられる。

エ 利用登録

新規利用登録数(以下、登録数という)の前年度(平成 30 年度)との比較では、上半期 55.2%、下半期 66.5%となり、年間で 58.7%となった。

分館の登録数は合計1か月平均 206 件、中央図書館と美浜分館が休館したことによる利用者来館の変動が増加につながったと考えられる(一部分館を除く)。具体的には、前年比で堀江 30.5%、猫実 79.9%、富岡 40.0%、日の出 24.6%、高洲 11.1%と増加した。一方、当代島は、4.2%減となった(9月末から公民館改修工事による休館となった美浜は、28.1%減)。

3月 24 日にリニューアルオープンした中央図書館においては、24 日のリニューアルオープン日からの 7 日間で 167 件あり、中央図書館のリニューアルに対する注目度や期待度の高さが伺われる。

8 広報

平成 31 年2月から『図書館通信』の発行を毎月行い、浦安市集合事務所1階に設置した臨時窓口や市内各分館等で配布した。工事中的写真やリニューアルの内容、また休館中に開館している市内各分館やサービスポイントを紹介する記事を掲載し、市民への情報提供を行った。休館中の広報については、図書館ホームページの他、「広報うらやす」での告知に取り組んだ。

(4) 図書館通信

平成 31 年2月号より月1号のペースで発行を行った。主な内容は次の通り。

号数	発行日	特集名
第1号	平成31年2月1日	引っ越し開始!
第2号	平成31年3月1日	引っ越し本番!
第3号	平成31年4月1日	図書館桜をご存知ですか?
第4号	令和元年5月1日	ご存知ですか? 図書館サービス① 県内図書館相互貸借制度
第5号	令和元年6月1日	ご存知ですか? 図書館サービス② 児童サービス、続けています。
第6号	令和元年7月1日	ご存知ですか? 図書館サービス③ 分館で新聞を読む



号数	発行日	特集名
第7号	令和元年8月1日	ご存知ですか？図書館サービス④ 夏休みも図書館へ！
第8号	令和元年9月1日	ご存知ですか？図書館サービス⑤ 図書館に本が並ぶまで
第9号	令和元年10月1日	プレイバック・あの頃の図書館
第10号	令和元年11月1日	リニューアルでどこが変わるの？①
第11号	令和元年12月1日	リニューアルでどこが変わるの？② 児童室が明るく、開放的に！
第12号	令和2年1月1日	リニューアルでどこが変わるの？③ ワークスペースって何ですか？
第13号	令和2年2月1日	リニューアルでどこが変わるの？④ 視聴覚室や中央カウンター周辺が変わります

参考資料 10)「浦安市立図書館図書館通信」

(5) 広報うらやす

ア 平成30年(2018年)

- 1月1日号 「大規模改修に伴う中央図書館の休館」
- 6月1日号 「中央図書館大規模改修に伴う休館」
- 9月1日号 「図書館での寄贈の受付を中止します」
- 10月1日号 「中央図書館大規模改修に伴う休館」
- 11月1日号 市長さんぼ第13回 「日本一の図書館」リニューアルへ」
- 12月1日号 「中央図書館大規模改修に伴う休館」

イ 平成31年(2019年)

- 2月15日号 「図書館分館を利用しましょう」

ウ 令和2年(2020年)

- 2月1日号 「中央図書館リニューアルオープン！中島京子氏記念講演会「図書館と私」」
  - 3月15日発行「中央図書館リニューアルオープン」
  - 3月21日発行 広報うらやす号外図書館特集号 「中央図書館リニューアルオープン」
- 参考資料 11) 広報うらやす号外図書館特集号(令和2年3月21日発行)

(6) その他

ア こちら浦安情報局

- 平成30年11月「市長さんぼ」で紹介
- 平成31年2月「市だより」で「図書館分館を利用しよう」

- イ おさんぽバス内ポスター掲示  
平成 31 年2月～令和元年5月「中央図書館休館中」
- ウ 工事外壁  
平成 31 年3月～工事の仮囲いに図書館利用者のイメージイラストを貼付
- エ リニューアルオープン時新聞記事(すべて令和2年)
  - (ア) うらやす情報3月 10 日号  
「中央図書館がリニューアルオープン」
  - (イ) 浦安よみうり3月 21 日号  
「浦安市立中央図書館 24 日、リニューアルオープン」
  - (ウ) 産経新聞県版3月 25 日号  
「浦安市立中央図書館大規模改修オープン」
  - (エ) 東京新聞県版3月 25 日号  
「浦安市中央図書館リニューアル開館」
  - (オ) 千葉日報3月 26 日号  
「浦安中央図書館が新装」
  - (カ) 朝日新聞県版3月 29 日号  
「読書は窓際でゆっくり 浦安・中央図書館一新」
  - (キ) 毎日新聞県版3月 30 日号  
「浦安市立中央図書館リニューアル 電動書架で蔵書5万冊増」
  - (ク) 浦安新聞4月3日号  
「より利用しやすい図書館へ 浦安市立中央図書館がリニューアルオープン」
  - (ケ) 浦安よみうり 4 月 11 日号  
「浦安市立中央図書館 リニューアルオープン」
  - (コ) うらやす情報4月 10 日号  
「中央図書館がリニューアルオープン」
- オ リニューアルオープン時テレビ放映
  - (ア) J:COM 浦安「デイリーニュース」3月 25 日放送
  - (イ) こちら浦安情報局「市だより」4月4日から 10 日放送

## 第5章 成果

### 1 主な成果

- (1) 空調設備・トイレの改修、授乳室の設置、閲覧・学習スペースの拡充など、市民の利用環境を大幅に改善した。
- (2) 老朽化した施設を全面的に改修し、今後 30 年の運営基盤を整えた。
- (3) 市民の学習成果の発表や行政との連携など、新たな事業展開が可能なスペースを新設した。
- (4) 大規模改修工事前から課題となっていたサービスの見直しや資料の配置変更を合わせて行った。
- (5) 集密書庫の導入により、5万冊程度収容冊数を増やした。
- (6) 事務室の拡張などにより、職員の執務環境を改善した。

参考資料 12) Uモニ集計結果(令和2年 12 月実施)

### 2 課題

令和2年 12 月に実施したUモニアンケートでは、リニューアル後の図書館を利用した際の満足度について、「とても満足」と「まあ満足」の合計が 66%、「やや不満」と「不満」の合計が5%となり、おおむね市民の満足度は高い結果となっていた。市民の高い満足度を維持できるよう、また大規模改修事業のコンセプトを実現できるよう、運用面でも改善に向け取り組んでいきたい。リニューアル後に残った課題としては、以下のようなものがある。

- (1) 改修前よりも空調設備の発生音が大きくなった箇所がある。
- (2) 照明スイッチの場所など細かな点で現場の要望が反映できない箇所があった。
- (3) 資料配置や運用の変更、新たな施設に関して利用者への案内表示が十分ではない。
- (4) OAフロア導入により床面が上がったため、既存家具が使えなくなった箇所があった。
- (5) 事務スペースが広がった一方で収納場所が少なくなった。

### 3 新規サービス

新たに設置するワークスペースの運営や、学習室の利用方法の変更等にあたり、浦安市立図書館管理運営規則の改正を行い、これに伴う要綱の制定を行った。また、現在運用している要綱や内規についてもすべて検証作業を行い、必要に応じて改正を行った。

#### (1) のびのび広場(児童室)

靴を脱いでくつろぐことができるスペース。奥の「おはなしのへや」は、おはなし会などに利用するほか、イベントのない時は自由に使うことができる。

#### (2) あかちゃんほっとすてーしょん(児童室)

授乳スペース1室とおむつ交換台1台を設置した。

(3) 読書通帳機(一般開架室・児童室)

図書館で借りた本の記録を銀行通帳のように直接印字するための機器。  
中央図書館に2台のほか、分館7館に各1台ずつの合計9台を導入した。

(4) ワークスペース(一般開架室)

図書館利用による研究成果の発表、ミニ講座、展示会等のほか、個人や小グループで学習ができるスペース。イベント開催中も途中参加や見学者を受け入れ、自由に出入りができるようにするのが基本だが、団体に貸し切りにすることも可能とした。室内には、組み合わせ自由な机と椅子、ミーティングボードがあるほか、スクリーンも備えた。

(5) 南側閲覧席(一般開架室)

窓下の書架を撤去し、閲覧席を35席設置した。

(6) 学習室・サイレントルーム(書庫棟)

学習室では、すべての席でパソコンや電卓を使用可能とした。新設した「サイレントルーム」では、パソコンなど電子機器の使用を禁止し、学習室よりさらに静かな環境を整えた。

(7) 視聴覚コーナー(書庫棟)

CD・アナログレコード・カセットテープを着席で試聴できるほか、CDを立ったまま試聴できるコーナーを設けた。

(8) 視聴覚室(本館棟2階)

機材、内装を一新し、難聴者の聞こえを支援するための設備としてヒアリンググループを設置した。

#### 4 リニューアルオープン事業

(3) イベント計画

ア 広報

当初予定していたオープニングセレモニーおよび内覧会に合わせ、「広報うらやす 中央図書館リニューアルオープン特集号」を令和2年3月21日に発行した。新しくなった各フロアのアピールポイントを担当者が紹介する内容であった。

3月24日のリニューアルオープンに際し、内覧会用に作成したパンフレットを、来館者に配布した。

懸垂幕、バナーフラッグ、立て看板を作成・設置し、リニューアル開館日のPRを行った。

広聴広報課に依頼し、市役所電光掲示板にリニューアルオープン日を表示した。

イ 新デザイン図書館利用券

新しいデザインの利用券を2種類作成した。

ウ 記念品

記念品としてミニタオルを作成し、来館者に配布した。

エ リニューアルオープン記念事業

リニューアルオープンにあたっては、記念事業の開催を予定し、オープニングセレモニーや記念講演会、コンサートの準備を行った。しかし、新型コロナウイルスの感染防止対策により、記念事業をすべて開催することはできなかった。

中央図書館リニューアルオープン記念事業一覧

イベント名	内容・目的	実施予定 日時・場所	参加対象 定員	実施状況
オープニング セレモニー	来賓を招いてオープニングセレモニーを行い、中央図書館のリニューアルオープンを祝う	3月21日(土) 10:00-10:20 エントランス	来賓 一般市民	3月24日 8:45~10:00 ・市長からのメッセージ ・プレス向け内覧会 ・開館前に市長から市民へのメッセージ
読書通帳 贈呈式	読書通帳を寄贈いただくにあたり贈呈式を行う	3月21日(土) 10:20-10:30 中央 カウンター前	来賓 児童代表 一般市民	4月2日 市長室にて開催
東小吹奏楽部 演奏会	東小吹奏楽部児童による演奏	3月21日(土) 10:30-11:00 中央 カウンター前	来賓 一般市民	中止
記念講演会	リニューアルオープンを記念して直木賞受賞作家の中島京子氏を招いて、講演会を開催する	3月22日(日) 14:00-16:00 文化会館 小ホール	一般市民 300名	中止

イベント名	内容・目的	実施予定 日時・場所	参加対象 定員	実施状況
図書館ツアー	新しくなった図書館を 司書が案内する	3月21日(土) 11:30-12:15 22日(日) 13:00-13:45 図書館内	21日児童 22日 一般・児 童 20名程度	中止
演奏会 (弦楽四重奏)	市内若手音楽家による演奏	3月21日(土) 13:00-14:00 ラウンジ	一般市民 定員50名	中止
レコード コンサート	ジャズとクラシックのレ コードコンサートを行 う	3月21日(土) 14:10-15:10 22日(日) 10:30-11:30 ラウンジ	一般市民 定員50名	中止
図書館写真館	リニューアルオープン を記念し館内に写真 撮影コーナーを設置 する	3月21日(土) 22日(日) 児童室入口 他	一般市民	中止
中央図書館 ビフォーアフター	懐かしい図書館の写 真等を展示する	3月21日(土) から2週間 書庫棟 展示コーナー	一般市民	6月1日～29日まで
高橋扶臣男氏 写真展示	市が所有している高 橋扶臣男氏作品を展 示する	3月21日(土) から2週間 ワークスペース	一般市民	10月1日～15日まで

イベント名	内容・目的	実施予定 日時・場所	参加対象 定員	実施状況
リニューアルオープン 記念品配布	リニューアルオープンを記念して作成したタオルを記念品として配布する	3月21日(土) 22日(日) 中央カウンターまたは エントランスホール	一般市民	実施 3月24日～
内覧会用 資料配布	内覧会の案内パンフレット等を作成し配布する	3月21日(土) 22日(日) 中央カウンターまたは エントランスホール	一般市民	実施 3月24日～
図書館通信 展示	中央図書館休館中の情報を毎月発行していた図書館通信を展示する	3月21日(土) 22日(日) 書庫棟 展示コーナー	一般市民	中央図書館ビフォーアフターと併せて展示
新利用券 お披露目	デザインを新しくした利用券をお披露目する	3月21日(土) 22日(日) 中央 カウンター	一般市民	実施 3月24日～

#### (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

3月24日(火)の中央図書館リニューアルオープン後の開館は、次の内容で行われた。

##### ア 開館時間

平日、土日とも10時から18時まで

##### イ サービス内容

貸出し(20冊3週間)、返却、登録のみ(座席の利用は不可)

##### ウ 入館管理

体調チェック(検温)

手指の消毒推奨

##### エ そのほか

職員による見回り

浦安市立中央図書館大規模改修事業記録集  
令和3年3月31日

編集・発行 浦安市立図書館

〒279-0004

浦安市猫実1-2-1

発行日 令和3年3月31日